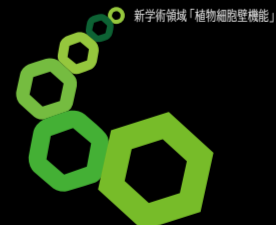




植物の中心にあり 多様なシグナル分子

平成26年11月18日(火) 13:30~

奈良先端科学技術大学院大学 ミレニアムホール



講演者

松林 嘉克 (名古屋大学大学院理学研究科)
「新しいペプチドシグナルを探す」

中南健太郎 (理化学研究所 CSRS)
「環境ストレス応答に機能するペプチドホルモンの発見を目指して」

前島 健作・難波 成任 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
「ナノ病原体の病原性シグナル」

別役 重之 (JSTさきがけ/東京大学大学院理学系研究科)
「植物免疫反応場の極性形成機構」

岡本 暁 (名古屋大学大学院理学研究科)
「根粒形成の長距離制御から見てきた分泌型ペプチドの器官間移行」

野田口理孝 (名古屋大学・JST ERATO東山ライブホロニクス)
「篩管を長距離移行する高分子は何をする?」

倉田 哲也 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)
「植物器官成長における内外細胞層協調化」

主催：NAIST 植物科学グローバルトップ教育推進プログラム

文部科学省 新学術領域研究「植物細胞壁の情報処理システム」(代表者 西谷和彦)

文部科学省 新学術領域研究「植物発生ロジックの多元的開拓」(代表者 塚谷裕一)

世話人：NAIST 深尾陽一郎、稲田のりこ、倉田哲也

お問い合わせ：NAIST 前田順子 (jmaeda@ad.naist.jp)

http://bsw3.naist.jp/plantglobal/message/symposia_workshops/sym_141118.shtml

